財政力指数から見た税収不足

	1982年以前	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	
財政力が高かった時代	昭和５７以前	昭和５８	昭和５９	昭和６０	昭和６１	昭和６２	昭和６３	平成１	平成２	平成３	平成４	平成５	平成６	平成７	平成８	平成９	平成１０	平成１１	平成１２	平成１３	平成１４	平成１５	平成１６	平成１７	平成１８	平成１９	平成２０	平成２１	平均
基準財政収入額(百万円)		6,626	6,832	8,044	8,784	8,272	8,749	10,202	9,831	11,203	12,684	14,281	13,903	13,719	13,721	13,951	15,237	14,074	13,841	13,602	15,628	16,717	16,105	15,450	16,501	16,890	17,754	14,261	12,847
基準財政需要額(百万円)		4,440	4,536	4,820	5,136	5,345	5,647	6,410	6,929	7,603	8,676	9,083	9,033	9,277	9,542	9,833	10,175	10,549	10,593	10,254	9,849	9,271	9,314	9,496	9,867	10,024	10,195	10,053	8,369
財政力指数		1.49	1.51	1.67	1.71	1.55	1.55	1.59	1.42	1.47	1.46	1.57	1.54	1.48	1.44	1.42	1.50	1.33	1.31	1.33	1.59	1.80	1.73	1.63	1.67	1.68	1.74	1.42	1.54
主な施設建設	文化会館 勤労体育 保健センター 水族館	臨海体育館 日進保育園 日進公民館		中部公民館 農コミ	休日・障害者歯科診療 にじの学園 港湾スポーツ		市民病院 前浜集落新 明石公園	農コミ出張 旧JA新川	防災の家	南部プラザ	無我苑	芸文 図書館	棚尾幼稚園	あおいP温室 ふれあい作業所	新川児ク 保健セ増	臨海G管理棟 あおいP本館	棚尾公 児童ク（中・西）	本庁舎 鷲児ク	東プラ 児童ク（大・日） 臨海Gスタンド	園舎増築		園舎増築		第1給食調 栗山防災倉庫	ものづくりセ	美術増築 臨海ドーム 第2給食調	給食セ車庫 園舎増築	棚児クラブ 旭防災倉庫 ららくる	
社会情勢等																											リーマンショック		

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
財政力が下がってきた時代	平成２２	平成２３	平成２４	平成２５	平成２６	平成２７	平成２８	平成２９	平成３０	令和１	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７	令和８	平均
基準財政収入額(百万円)	12,551	12,129	11,674	11,784	11,902	14,289	14,744	15,358	13,320	14,848	14,774	14,303	13,990	15,700	15,053	17,631	15,260	14,077
基準財政需要額(百万円)	10,604	11,204	11,556	11,748	11,571	11,719	11,496	11,542	11,693	11,734	12,158	12,664	12,550	12,618	12,969	13,372	13,529	12,043
財政力指数	1.18	1.08	1.01	1.00	1.03	1.22	1.28	1.33	1.14	1.27	1.22	1.13	1.11	1.24	1.16	1.32	1.13	1.17
主な施設建設				あいくる	神田防災倉庫	新児ク分館 中児ク分館	新児ク増築	棚児ク分館	ビーチコート	中児ク分館	碧南駅待合	地包支セ西端			新塩浜事務			
社会情勢等			財政再スタート		法人市民税12.3%から9.7%					法人市民税9.7%から6%						非常事態宣言		

裕福時の財政力指数（１．５４）から見た収入不足額(百万円)								
2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	平均
R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
3,165	3,884	5,199	5,429	3,808	4,941	2,948	5,547	**4,498**

財政力が高かった時代

昭和50年代後半から平成20年頃までは、財政力指数が 1.5〜1.8 という極めて高い水準にあった。
この時期に主要な公共施設の多く（水族館、あおいパーク、無我苑等）が建設された。

財政力が下がってきた時代

平成20年のリーマンショック以降、指数は 1.0〜1.3 付近で推移。かつてのような大規模な新規建設はせず、児童クラブの分館整備や既存施設の改修が中心となっている。

現　在

かつての「高い財政力」で建設し、維持されてきた公共建築物を今と同じ形で維持するには、現在の収入では困難。

財政力指数を基に不足額を計算すると
年平均**４５億**円不足
することとなる。